

1. 件名：特定兼用キャスクの設計の型式証明申請に関する面談
2. 日時：令和3年4月6日 10:30～11:00
3. 場所：原子力規制庁 9C階会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

立元管理官補佐、中野上席安全審査官、深堀上席安全審査官、松野上席安全審査官、田澤審査チーム員

（核燃料施設審査部門）

山後安全審査専門職※

（核燃料廃棄物研究部門）

後神技術研究調査官

三菱重工業株式会社：

原子力セグメント 機器設計部 主席プロジェクト統括 他6名※

5. 要旨

- (1) 原子力規制庁から、令和3年3月22日に開催された第8回特定兼用キャスクの設計の型式証明等に係る審査会合において提示された資料1-11「補足説明資料16-3 16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設遮蔽機能に関する説明資料」の内容について、以下の事項について追加説明するよう伝達した。

○三次元輸送計算コードMCNP5の妥当性検証について、検証プロセスの実施結果の
出典。

○ベンチマーク解析を用いることによるMCNP5の検証方法の妥当性。

○MCNP5の評価に係る分散低減法について、Weight Window Parameterの具体的な
作成方法。

○MCNP5の評価に用いるTallyの設定の考え方。

○解析結果に付随する統計誤差の評価に関する詳細。

- (2) 三菱重工業株式会社より、了解した旨、回答があった。

6. その他

提出資料：なし

以上